

高梁市 議会 だより

本町一区
Honmachi 1st Sec.

Honmachi 本町

特集

9月定例会開催

平成26年度決算審査
一般質問が聞きたり！

⑥ ②



平成26年度決算審査では普通会計^{※1}ベースで歳入、歳出とも前年より増加。実質単年度収支では約2億円の黒字でしたが、人件費や扶助費が増加しており、自由に使えるお金の割合は減っています。

決算全体として、多くの議員から収入未済額や不納欠損額^{※2}が増加し続けていることへの懸念が示されました。また、財政指数も大切だが積極的な財政運営を望むといった意見や、今後地方交付税が減少していく中での財政運営の在り方について議論が行われました。

一般会計の歳入については、市税、使用料、手数料等に関する収入未済額や不納欠損額が詳細に議論されました。

一般会計の歳出については、随意契約の在り方について意見が出されました。ふるさと応援基金積立金については、産業振興の面も加味すべ

きではないかとの意見があり、扶助費の増加について原因と対策について意見が交わされました。

林業振興費、里山林再生事業、治山造林整備事業に対しては、山林や里山を今後どのように維持、活用していくのが議論されました。

農業用機械等整備事業補助金に関しては、農業者の実態に合致した補助金額等の意見が出されました。公営住宅管理、体育施設管理については、アウトソーシングや民間委託をする考えがあるのかという意見が出されました。

成羽病院事業会計については、会計基準の変更や常勤医師減により厳しい決算となったため、公営企業法全部適用や医師確保について意見が出されました。

財政健全化比率の各指標

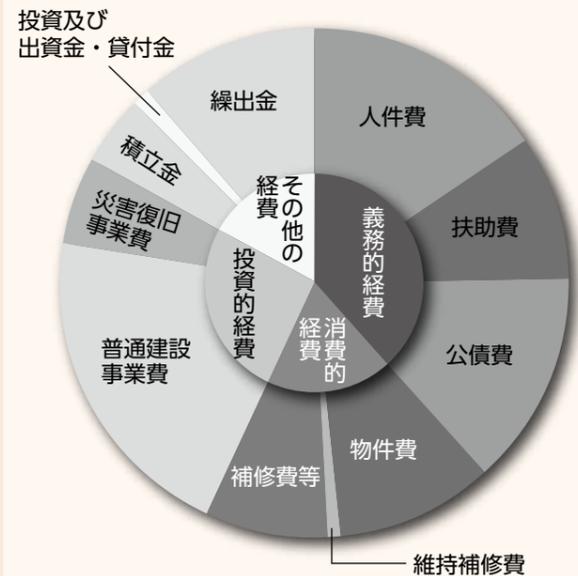
	H24	H25	H26	基準値	概要
実質赤字比率	-	-	-	12.77	一般会計の中の赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの
連結実質赤字比率	-	-	-	17.77	公立病院や下水道など公営企業を含んだ時の赤字の大きさの割合
実質公債比率	14.3	13.2	12.0	25.0	地方債の返済額の大きさ（公債費）を、財政規模に対する割合で表したものの
将来負担比率	76.9	77.9	69.7	350.0	地方公共団体が現在抱えている負債の大きさの財政規模に対する割合

※1 一般会計と特別会計（公営企業会計など特定の特別会計を除く）を合算し、会計間の重複等を除いたもの
 ※2 市税や負担金、使用料などが納入されなかったもので、現年分と繰越分とに区分される
 ※3 収入未済額のうち将来にわたり納入される見込みのないものを処分すること

平成26年度普通会計内訳

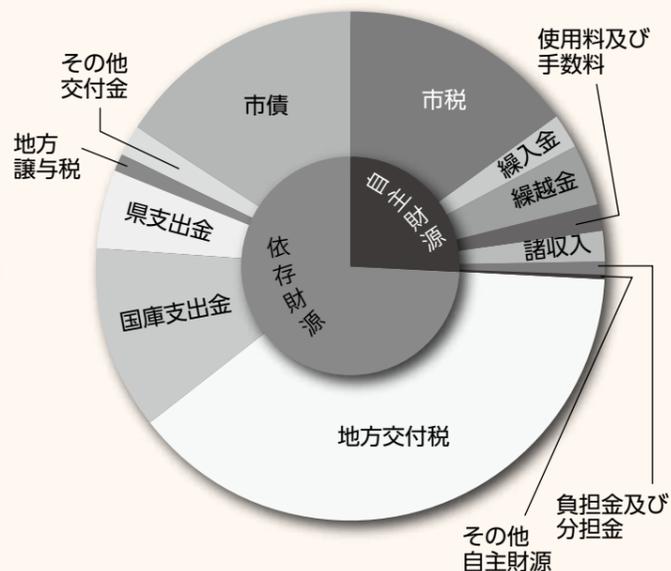
歳出 264億4,427万4,000円

支出が義務付けられている義務的経費は全体の38.4%です。備品購入などに充てる消費的経費は18.8%になっています。



歳入 271億4,933万4,000円

市税や分担金・負担金などの自主財源は全体の24.8%。残りは、国や県からの交付金や市債で賄っています。



本会議での討論

反対

決算には図書館を含む複合施設についての経費が含まれている。図書館や複合施設については十分な議論や市民合意がなされていない。駅前のにぎわいに特化した図書館はCCCへの指定管理を前提で進められている。生涯教育や歴史・文化・伝統継承の中央図書館機能が果たされないと考える。吉備国際大学への支出すべてを反対はしないが、一企業と市民生活予算とのバランスから見て偏重と考える。また、情報管理費にマイナンバー制度関係が含まれている。この制度は行政が市民個々に対し管理効率は上がるが、市民の利便性は上がらない。むしろ多大なコストが必要で、個人情報流出や犯罪等の危険を招く恐れがある。国民健康保険の広域化は市民負担が大きくなり反対する。

賛成

歳入では収入未済額や不能欠損額が昨年度より増加。歳出では8億円を超える不用額が発生し監査でも適切な進捗管理をとる指摘がある。しかし、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に照らすと基準以下であり評価できる。また、定住対策については住宅建築費等助成や分譲宅地の造成、新婚世帯家賃助成、空き家活用事業など、人口の社会的減少に対する一定の成果があった。さらに18歳までの医療費の無料化、不妊症や不妊症対策の助成など、安心して子供を産み育てる環境が展開され、分娩施設がないことを除けば県下でも充実していると考えられる。教育では児童の学力向上と問題行動の未然防止を図るため学級編成弾力化事業や、要支援児童に対する職員配置など進められており賛成する。

平成27年第5回高梁市議会（定例）は、9月4日から9月28日まで25日間の会期で開催されました。一般質問では、議員9名が29項目にわたって市政について質問。市長提出の議案17件全てを認定、可決し、議員から提出された乙議案4件についても可決しました。市民団体などからの2件の請願については採択とし、2件の陳情については不採択となりました。

「米価暴落等に対する対策を求める陳情書」について

高梁市の基幹産業は農業である。政府は昨年からの経営安定策を半減しコメの価格変動交付金も事実上廃止するなど、農家は危機的状況である。農業の発展なくしては地域の活性化や発展は望めず採択を求める。

水田は雨水を一時的に貯留し洪水や土砂崩れを防ぐ。多様な生き物を育む。美しい農村の風景は心をも和ませる。そのめぐみは都市

住民を含め国民全体に及ぶ。米価が暴落したときは国が対策をとるべきだと考え採択を求める。

「平和安全法制整備法案と国際平和支援法案は、まだ国民の理解や信任を得られた状態とはいえ、国会での成立を急ぐことなく慎重審議を政府に求める」について

委員会では、「慎重審議としてい

法案そのものは日本の自衛隊が攻められてもいない他国へ派遣され、米軍の後方支援などを行うものである。しかし陳情の趣旨は「賛成者を含め8割を超える方が説明不足と考え慎重審議を求める」この一点である。高梁市からも毎年4～5人の方が自衛隊に入隊されており国の問題だけでない。市議会として法案に対する考えを示すため採択を求める。

法案はまだ国民の理解や信任を得られた状態とはいえ、集団的自衛権は多くの憲法学者も違憲としている。しかし、安倍政権は個別的自衛権の解釈をしておし集団的自衛権の行使ができるとした。学者も弁護士も多くの国民も法案に反対し、あるいは慎重審議を求めるなかで可決された。法案の成立により国会審議そのものはすでに存在しないが、このたびの国民の声を無視した国会運営に異議を唱えるため採択すべきと考える。

マイナンバー制度導入に伴う条例・補正予算に関する議案について

マイナンバー制度は「行政の効率化」「国民の利便性の向上」「公平・公正な社会の実現」を目的に国が進めている。しかし、情報流出について不安感がある。過去には日本年金機構や民間企業から個人情報流出した。さらに、マイナンバー詐欺などの心配もある。情報管理は慎重に、詐欺被害防止の啓発や広報に力を入れるべき。

マイナンバー制度は行政機関が市民管理をしやすくするのが目的で、多大なコストの上に、国民のプライバシーの侵害や不正利用の危険性など考えられる。「平成27年度高梁市一般会計補正予算」についても、マイナンバー制度導入に向けた予算が組まれており反対する。

9月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○賛成 ●反対 一欠席

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田	宮好	小林	柳井	川上	長江	植田	川上	宮田	大月	妹尾	難波	
平成26年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●
高梁市情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成27年度高梁市一般会計補正予算（第3号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
米価暴落等に対する対策を求める陳情書	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
「平和安全法制整備法案」と「国際平和支援法案」は、まだ国民の理解や信任を得られた状態とはいえ、国会での成立を急ぐことなく慎重審議を政府に求める陳情	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	●

◎他の議案は全会一致で可決しました。

全員協議会

9月28日

議会改革関連条例

●高梁市議会議員定数条例の一部を改正する条例

議員定数については、行政監視機能や政策形成機能、委員会構成などの視点と行財政改革や近隣市等との比較などから議会運営委員会や全員協議会で議論してきました。議員定数を削減すれば地方の声が届きにくくなる。行政管理機能や政策形成機能が弱まるといった意見がある一方で、人口や交付税が減少するなか定数削減もやむ

を得ない。行政監視機能や委員会構成は2名削減の18名でも行える。といった意見がありました。結果、本会議の採決では賛成多数で次回改選時から、定数を18名とすることになりました。

●高梁市議会会議規則の一部を改正する規則

議会及び委員会において男女共同参画を考慮し、欠席届の事由に出席を加えました。

●成羽高校跡地に養護老人ホームと認定こども園を計画。長寿園・成羽川荘を統合（定員60人）鶴鳴保育園・成美保育園を統合（定員120名）。

質疑では「子供の声が騒音にならないか」「木材のぬくもりを感じる建物に」「地元や利用者の声は」「避難所として今後は」「今ある建物は使えないのか」等々の意見が出されました。

●CCCから提出された図書館運営の概要について。質疑では「内容や進め方など市民にオープンするべき」「直営と委託での予算比較表の人員費は問題がある」「CCCへ手数料10%の根拠は」「歴史や文化の公共性の担保は」「図書館長は専門家を招聘しては」「書籍の購入は地元で」「ボランティアとの関係は」等の意見が出されました。

の関係は」等の意見が出されました。

Q. ※1 複式簿記の概念も導入し、コストを意識した公共経営、※2 PDCAサイクルを確立していくべきでは

A. 事業の費用、効果などの評価、結果が予算、決算に反映されている



ここを聞きました

- 高梁市の財政のバランスシートについて
- 国際交流都市を目指した観光振興と市民福祉の向上について
- 地域資源を生かした総合戦略、地域ブランドの確立と循環型社会の構築とバイオマスタウン構想について

高梁市の財政のバランスシートについて

大森 平成24年度の財務諸表（複式簿記）では市単体会計の「行政コスト対税収等比率」（財政の弾力性）が目安となる100%（財政の硬直化）を超えているがどのよう認識しているのか。

総務部長 財政の健全化比率の指標となるものはいくつかあるが、実質公債費比率、将来負担比率などは健全な状態にある。今後はそのような企業会計（複式簿記）との比較も必要と考える。平成29年度までの統一公会計モデルの作成に向けて準備している。

大森 財務諸表から得られるストック、コスト情報を活用したP・D・C・Aサイクルの機能を確立してい

くことが、市職員の意識改革、行政の生産性向上につながり、コストを意識した効率的かつ質の高い行政サービスにつながると考える。

国際交流都市を目指した観光振興と市民福祉の向上について

大森 多くの人をさばく観光からお金を落としてもらう観光へ変えていくことが重要。それには質の高いサービス、インフラ、景観整備が必要になる。高齢化社会に対応したユニバーサルツーリズム、バリアフリー観光、インバウンド観光などの概念を取り入れた地域ブランドを確立した戦略、環境づくりが重要ではないか。

市長 商工団体との連携、インフラ整備、おもてなしの心などを地域の活性化につなげていく。

Q. 駅前複合施設は市民不在、建設工事概要にも問題あり

A. 利用者の方が上手に使っていただけたら良い



ここを聞きました

- 駅前複合施設について
- 高梁中央図書館について
- 保育園職員について

駅前複合施設は市民不在、建設工事概要にも問題あり

石部 駅前複合施設は4階建てであるが、1階バスセンターと3階図書館メインフロアにトイレがない。また2階JR駅待合所は複合施設が閉館するとトイレが使用できない。駅東側はそもそもトイレがない。また複合施設完成後には駅西側には「昇り専用エスカレーター」が2台も設置されるが「下り」はなく問題。バリアフリー、ユニバーサルデザインとは言えない設計ではないか。

政策監 議会やCCCにも提案し協議を行い、修正しながらやってきた。人の動線やコストを考え、現在の設計で十分対応できると考える。利用者の方が上手に使っていただけたら良い。現時点ではエスカレーターは2基とも「昇り専用」で考え、東側にトイレ計画はない。

石部 CCC代表の増田さんは講演会で「人口5万人の武雄市図書館は年中無休でコーヒーも飲むことができず雑誌の購入もできない。WiFiも完備していて、20万冊の本はすべて無料で読める。」と発言している。また「無料の貸本屋、レンタル屋」とも発言している。

本来図書館は市民の生涯教育や伝統や文化の継承のための施設であり、貸本屋目録での複合施設の運営は任せられない。

教育次長 合併にふさわしい図書館とのことだが、我々の理念としては高梁に必要なふさわしい図書館を目指している。武雄市図書館は貸出冊数も伸び、専門的レファレンスも十分可能となった。CCCによる企画イベントも多彩に展開されている。

Q. 生活福祉バスの料金が高すぎはしないか

A. 全市的なバランスを考えながら検討する



ここを聞きました

- これからの高梁市について問う
- 川面、巨瀬、中井生活福祉バス運行について

三村 複合施設の完成により、庁舎周辺の施設整備が終わる。市長はこれらの施設を市民にどのよう知らせ市政発展のために生かしていくのか。

市長 市の玄関口である駅と周辺整備は、高梁市の都市としてのポテンシャルを高めるために必要なものと考えている。今後は後期総合計画やマスタープランの中で、合併前の旧町の拠点機能を高め、周辺地域と市街地を結ぶ公共交通体制を整備していく。また、それに関わって道路整備が必要な箇所については順次改良を進めたい。

のか。コンサルタント任せではないのか。

市民生活部長 あくまでも市が主体的に取り組んでいる。

三村 出発時刻が遅く使い勝手が悪い面がある。乗りやすくするのが福祉の目的ではないか。

市民生活部長 そういう声があれば利用者の意向を踏まえ、全体的な見直しの中で検討していきたい。

三村 片道の最高運賃が800円で、往復1600円となる。これで福祉バスと言えるのか。運賃が高すぎるのではないか。

市民生活部長 路線バスとのバランスも考慮して決定した。料金については切実な問題であり、全市的なバランスを考えながら、検討したい。

Q. 米価暴落から農家を守る対策を求める

A. 生産費を償う価格補てんはできない。経営安定対策を活用いただきたい



ここを聞きました

- 農林業の振興について
- 佐与谷産廃処分場に対する取り組みについて
- 高梁市地域公共交通網形成計画について
- 学校施設の管理について
- 防災対策について

難波 米価暴落に対して農家が生産意欲を失わないよう対策を求める。本年産米価の傾向についてどのように把握されているか。

産業経済部長 平成27年産米価は、JAの概算金が、コシヒカリ一等米で昨年より2000円近い値上げとなっている。しかし平成24年産米からは下落しており、農業経営は悪化していると認識している。そのため、農機具共同購入補助金や集落営農組織の法人化支援などを行っている。

難波 米の生産費を償う不足払いを市独自で設けられないか。

産業経済部長 農家は平成26年度産米価で算定すると、1反当たり約3万円の赤字となる。仮に作付面積1060町歩に補填すると約3億3000万円となり、本市の

財政では困難である。

難波 国に対して米の輸入拡大をやめ、過剰米を市場に出さないように処理するよう強く求めること。

産業経済部長 輸入米は77万トンだが、加工用、飼料用で52万トン。主食用には10万トンなので米価には影響が少ない。国内消費量が少ないことが過剰在庫に結びついている。国への申し入れは考えていない。

難波 本市農業を壊すTPP交渉の中止を国に強く求めること。同時に重要5品目の譲歩は撤回するよう求めること。

市長 TPP交渉は国の判断である。今どうこう申し上げる立場ではない。日本食の高付加価値を高めていくことが重要と考える。

川面・巨瀬・中井生活福祉バスについて

三村 ルート、出発時刻は地域住民、バス会社の声を反映している

Q. 普通交付税が約10億円減少する中でのまちづくりは

A. 交付税の減少は後期計画に折り込んでいる



ここを聞きました

- 高梁市中期財政見直しについて
- 学童保育について
- 狩猟免許等の補助について
- 水道水源について

宮田 普通交付税について合併算定替が終了して一本算定になると約20・6億円削減されることなどから行革を進めてきた。第2次行革が昨年度で終了したが、今後はどうするのか。

市長 現在成果をまとめていくところであるが、扶助費の増大など新たな要因もあり、さらなる見直しが必要である。

宮田 今年は国勢調査がある。人口はどれくらいと想定しているのか。

市長 毎年500人ぐらい減少しているので、3万2500人ぐらいではないか。

宮田 人口減少は交付税に大きく影響する。減額はどのくらいになるのか。

市長 約2億円程度になると考える。

宮田 今年になって総務省は広域合併により行政サービスの経費が増えるものもあるとして、一本算定の見直しを行った。これにより減少額が20・6億円から8・2億円に圧縮されたが人口減で約2億円減少する。結果普通交付税は約10億円減少することになる。今後のまちづくりをどう考えているのか。

市長 新総合計画後期計画の立案時に、交付税が減少することは折り込んでいる。計画に基づいたまちづくりを進めていきたい。

Q. 「ゆ・ら・ら」についてゼロベースで考え直すのか

A. 議会の議決を原則として考える



ここを聞きました

- 学校給食による子育て支援施策について
- 図書館のCCCへの指定管理委託と高梁市立図書館指定管理者業務要求水準書について
- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の場外馬券場転用のための売却取りやめについて

「ゆ・ら・ら」の今後について
宮田 「ゆ・ら・ら」の今後については議会からの提言3案について消去法で対応していくのか、あるいはゼロベースで考え直すのか。

市長 「ゆ・ら・ら」廃止の議決をいただいております、そのことを原則としてゼロベースで考えたい。

宮田 売却を前提としてゼロベースで考えるということか。

市長 議会の議決をいただいていることが前提であると申し上げた。

関係者との意見交換の場を
宮田 神原荘、グリーンヒル順正、吉備国際大学、岡山県、地元が同じテーブルについて考えることが必要ではないか。

で判断していない。
第三者による検証を
宮田 神原地域での説明会において、これまでの「ゆ・ら・ら」に関わる事柄について第三者委員会を立ちあげて客観的な検証を行うべきという提案があった。市長、副市長ともに同意の旨回答されたが、どのような対応を行ったのか。

市長 検証するための組織はまだ設けていない。議会の議決があるので我々がそれを超えてどうこうということはない。今は全く白紙の状態、私に考えを示せと言われても出てこない。ご容赦いただきたい。

Q. 水道事業の大幅な値上げについて、市民に情報提供を

A. 水道経営審議会で審議いただいているが、年内には一定の方向性を示したい



ここを聞きました

- 上水道、簡易水道事業の統合について
- 森林資源活用について

上水道・簡易水道事業の統合について
森田 現在、上水道事業は健全経営が行われているが、簡易水道事業については一般会計からの繰り入れがないと経営がでない現状である。今後の事業統合という事になると料金も一本化することとなるがどのような検討をされているのか。

産業経済部長 平成19年度に統合計画を策定し、平成29年度に公営企業会計に移行するため、現在までに5回の水道経営審議会を開催し、水道事業の健全経営に向けてのシミュレーションと水道料金の検討を行っている。年内には一定の方向性を示したい。

森田 事業統合に伴い、基本料金の検討も進められることとなるが、

高齡化が進んでいる高梁市にとって、高齡者のみの世帯及び単身世帯の基本料金について検討が必要ではないか。

市長 基本料金についての検討は、現在水道経営審議会で審議いただいている。内容としては、上水道50%超、簡易水道32%程度で将来的には経営が安定するという事となっている。しかし、簡易水道事業については、中山間地域での事業で非常に厳しい状況が考えられる。また10立方メートル未満の使用世帯の基本料金についても考えなくては駄目だが、国へ向けても中山間地ならではの現状を申し上げ事業統合へ向けての特別の配慮を求めている。

Q. 空き家の活用は進んでいるのか

A. 活用のためのアンケートを実施中



ここを聞きました

- 教育行政について
- 駅前複合施設について
- 空き家の利活用について

利用者の利便性を考えた複合施設の建設を
石井 駅前複合施設の待合コーナーは吹きさらしの場所にある。これでは、十分な駅の機能回復とは言えないのではないか。

政策監 図書館の開館時間は中に入って待っていただけ。閉まっている時間には外で待つことになり、乗り換えで長い時間待つことはないと思っている。

石井 現在駅を利用している人にアンケートを取ったりすることも有用ではないか。担当の思いも重要だが、それだけでは利便性にならないこともあると思う。利用者の意見も反映させた施設にしたい。

空き家の有効活用で市街地の活性化を
石井 前回質問した、高梁市の技術、伝統産業を継承していくための施設について進展はあるか。

市長 現在、高梁で自慢できるものや伝えたいもの、残したいものについて市民アンケートを取っている。12月までにまとめて、空き家を活用するたたき台にしたい。

石井 市街地の飲食店を活性化させるためには、市街地の居住人口を増やす必要があるのではないかと高梁に住みたいが、地価が高くて引越せないと声を聞く。

市長 土地の活用には商工会議所や商工会の協力が不可欠。密に連携してやっていきたい。

Q. 旧高山小学校の活用案は

A. 総務省の事業に取り組んでいる



ここを聞きました

- 維持管理について
- 風力、水力発電機について
- 旧高山小学校の活用について
- 中学校に吹奏楽部をつくってはどうか

■ 維持管理について

大月 備中高梁駅と東西連絡道の管理区分は明確になっているか。

産業経済部長 平成26年度に東西連絡道に直結した橋上改札を整備し、4月11日から供用開始した。市の管理部分は、東西連絡道及び延伸デッキ、階段、エスカレーター、エレベーター、トイレとなり、これらの部分については、業者委託により毎日1回清掃を行っている。保守点検もしている。トイレ清掃は4月から半年間の使用状況を勘案し、清潔で快適にご利用してもらえるよう10月から1日2回の清掃及び1日1回の消耗品補充・点検を実施する。高所作業については今後は専門の清掃業者へ委託し清掃の徹底を図る。

■ 旧高山小学校の活用について

大月 旧高山小学校の活用について、林間学校としてはどうか。

教育次長 平成22年3月をもって廃校となり、活用の検討はしてきたが現在も決まっていない。高山小学校を活用したいの思いは教育委員会も同じである。文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」により全国公募に対して、太陽光発電をグラウンドに設置したい旨の業者提案があったが、地元とも協議した結果、見送りとなった。なお、総務省も同じような事業を展開しているが、この事業は事業者なり、クリエイターと市町村が共同で事業応募を行い、優れた事業は総務省が支援するというものであり、今後高梁市としても取り組んでいきたいと思っている。

委員会報告

総務文教委員会

高梁市情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

委員 この改正はマイナンバー制度の導入によるものだが、個人番号を忘れた場合はどうなるのか。

執行部 10月から個人番号通知カードを発送する。今後は各種手続の本人確認等で個人番号を聞くことになる。しかし個人番号を忘れることも想定し、代替措置等も用意している。

委員 マイナンバーカードを持てば、税務関係や社会保障関係の手続、被災時の手続などが簡素化される。しかし個人情報漏れるのではないかと不安から持たない人も出てくると思うが市はどのような対応をするのか。

執行部 マイナンバーカードの発行は強制ではないが、身分証明書として有効であり、各種手続も

簡素になるなど利点も多い。情報保護の方法なども含め、広報紙やホームページ、ケーブルテレビ等々を含めた広報媒体を使ってきめ細かく周知していく。



産業経済委員会

平成27年度高梁市一般会計補正予算(第3号)

委員 道路維持費と道路新設改良費の関連で、現在市道の改良要望がどのくらい出ているのか。

執行部 毎年150件から200件ぐらいの改良、修繕、舗装などの要望があるが、必要性や緊急性を考慮しながら20件から30件ぐらいを行っている。

委員 要望からすれば、予算が少ないのではないのか。執行部はどのように考えているのか。

産業経済委員会管外行政視察

石川県金沢市(8月24日)

金沢市では、伝統的建造物群保存地区での軒下配線による無電柱化事業や、空き家の町屋を改修し、職人の工房として貸し付ける制度などを視察研究しました。



石川県金沢市

静岡県浜松市(8月25日)

浜松市では、農業と工業のバランスある土地利用の実現を目指し、国や県と協議し、市街化調整区域でも各種条件を満たせば立地が可能となる工場立地誘導地区(特区)の取り組みを研究しました。



静岡県浜松市

執行部 道路はインフラ整備の一番の基本のところなので、限られた予算であるが、できる限りの努力はしていきたい。

委員 土地購入費730万円、工作物等移転補償費970万円の内容は。

執行部 土地購入費は高梁駅西広場整備を行うために、JRの土地を購入する費用。工作物等移転補償費は、複合施設を建設する辺りの電線の地中化と駅前交番付近の歩道整備関係、コインパーキングを駅東側に移転するための費用など。

執行部 月150名から160名が利用された。

委員 ふれあいタクシー方式もあるが、この地域はなぜバスにしたのか。

執行部 地域の意見を聞く中で、路線バスを細かく運行してほしいとのニーズが高かった。

委員 利用料金の考え方は。

執行部 地域内は一律300円で、市街地までは路線バス料金を考慮して設定した。

高梁市霊園条例の一部を改正する条例

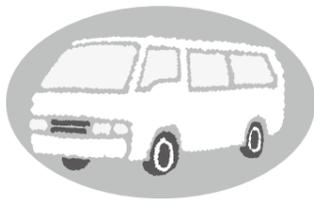
委員 上谷第2霊園の使用料は1区画54万円で、他の霊園より高い設定だが、その理由は。

執行部 駐車場を含めた霊園全体の整備費用や近隣の民間墓地価格を考慮して設定した。

市民生活委員会

高梁市生活福祉バス運行条例の一部を改正する条例

委員 川面・巨瀬・中井の生活福祉バスの実証運行の結果は。



○議会を傍聴しませんか○
 本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の生の活動がよくわかると思います。



高梁城南高等学校× 高梁市議会 コラボレート第7弾



今回の表紙を飾っていただいたのは、高梁城南高等学校デザイン科2年生の西山美月さんの作品です。城下町の趣を残す本町の風景を描いて下さいました。

作品のポイントは質感。特に漆喰の白壁を大切に描いたとのことでした。逆に、板壁の表現に苦勞したとのこと。

「デザインに関わることは何でもこなせるようになりたい」と将来の夢を語ってくれた美月さん。

今は課題の食品サンプルを作ることが楽しみとのこと。旺盛な好奇心でオールマイティーなデザイナーに育ってほしいものです。

気になるスポット The spot of Takahashi

神原八幡神社

子どもの頃、絶好の遊び場だった神原八幡神社。神原八幡神社社記には「平安時代中期の寛弘元年(1004)花山天皇が諸国を御巡行のみぎ^{みぎ}砌り、川上郡阿部村に駐御され、山城国男山八幡の大神(石清水八幡宮)を近似村に^{ほうせん}奉遷せられ、近似村、阿部、玉村、下切村、原田村、川乱村、春木村、神原村、田井村、肉谷村の大氏神として、大元八幡宮を創建し、村民らは厚く^{そんすう}尊崇した。



時代の変遷に伴い、御霊を分ち、鎌倉時代初期の建久元年(1190)此の地に勧請、創建され村の氏神として崇敬した。」とある。一人、夕暮れの社殿を見上げながら、改めて、時の流れ、歴史の重みを感じるのだった。

編集後記

今年の秋は思いのほか雨が多く、例年に比べて稲刈り作業に手のかかった農家が多かったと聞きます。筆者自身、十数年ぶりに鋸がまを手に、ぬかるむ田んぼで手刈りを行いました。農業は時間と手間がかかる産業。しかも天候に抗うことができません。泥まみれになりながら、高梁市の農業の明日を考えるのでした。(宮田 公人)

☆ご意見はこちらまで
 高梁市議会事務局
 高梁市松原通2043
 ☎0866-21-0276

編集
 議会広報調査特別委員会
 委員長 宮田 公人
 副委員長 宮田 好夫
 委員 森田 一夫
 委員 大森 誠生
 委員 石田 芳生
 委員 石井 美